

[体験] 統計学を使って飲食店を繁盛させよう！

- Excel による統計学のビジネスへの活用 -

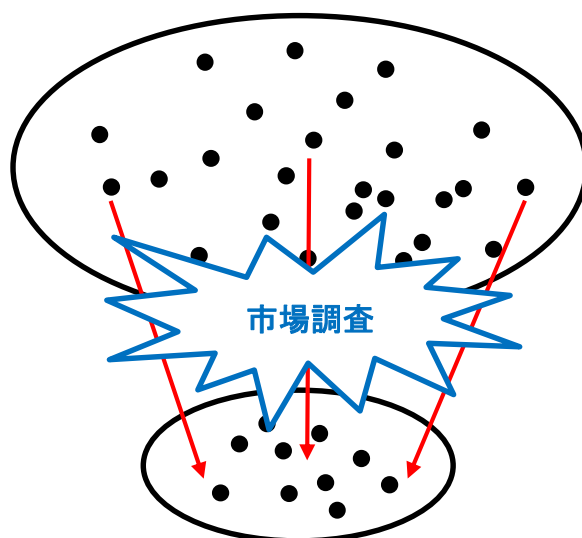
2015. 8. 24

玉川大学 工学部 マネジメントサイエンス学科

統計学をビジネスに活用できるマーケティングのプロを目指す

工学部マネジメントサイエンス学科には、『マーケティング・データサイエンス領域』という専門領域があります。「マーケティング」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？「マーケティング」とは、商品やサービスの市場調査・分析を行い、企画から開発、そして販売促進から販売量の決定までを行う活動のことです。商品の企画や開発は、思いつきやアイデア頼りで行うものではありません。種々のデータを分析し、顧客のニーズを把握するなどの科学的なアプローチが必要となります。そのときに大きな武器となるのが「統計学」です。

最近「ビッグデータ」という言葉がビジネスのキーワードになっているように、どの業界・職種においても、データ分析のための統計学の重要性が高まっています。統計学をビジネスに活用できるマーケティングのプロを目指しましょう。



アンケートを取って市場を分析

講座内容

身近な飲食店の経営を例にして、統計学がどのようにビジネスに活用できるかを学びます。具体的には、「何が売上を決めるのか？」、「適正な仕入れ量はどれくらいか？」、「ライバル店に勝つためにはどうすればいいか？」などといった問題を、統計学を使って解決します。

統計学は、数学の一分野でもあるのですが、この講座では難しい数学は一切使いません。紙と鉛筆を使ったり、統計的处理を行う代表的なソフトウェアである Microsoft Excel を使ったりして、体験的に統計学の手法に触れます。

Excel をビジネスに活用することは今やビジネスマンにとって必須のスキルです。この講座で、統計学と Excel という強力な2つの武器を手に入れましょう。

